

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品に起因して  
生じた事故かどうか不明であると判断した案件について

平成19年10月23日  
経済産業省商務情報政策局  
製品安全課製品事故対策室

消費生活用製品安全法(昭和48年法律第31号。以下「消安法」)第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故に係る公表において、製品起因か否かが特定できていない事故として公表した案件のうち別紙については、消費経済審議会製品安全部会「第4回製品事故判定第三者委員会」における審議の結果、原因究明調査を行ったものの製品に起因して生じた事故かどうか依然として不明であると判断したので、製品安全に資する情報提供の観点から、不明の理由を付して公表することとします。

なお、事故原因は不明であるため、今後の事故の発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととしています。

詳細は別紙のとおりです。

【参考】 消安法

(主務大臣への報告等)

第35条

消費生活用製品の製造又は輸入の事業を行う者は、その製造又は輸入に係る消費生活用製品について重大製品事故が生じたことを知ったときは、当該消費生活用製品の名称及び型式、事故の内容並びに当該消費生活用製品を製造し、又は輸入した数量及び販売した数量を主務大臣に報告しなければならない。

## 原因究明調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
A200700023	平成19年4月4日	平成19年5月25日	ベビーカー	GT-S	株式会社カトージ	重傷1名	母親が子供(2歳)をベビーカーに乗せようとして、折り畳み式ベビーカーを開くときに、フレームパイプの接続部分に子供の左手薬指が挟まれて先端を切断した。	愛知県		製品の性質上、指挟みの可能性があるため、使用者は十分に注意をする必要があるが、使用者の不注意とは言いつれず、また、製品に起因した事故であるとも言いつれないため、なお、幼児が乗る乗り物である事を鑑みると、万が一指挟みが起こっても切断に至らないような製品設計が望まれる。
A200700074	平成19年5月3日	平成19年5月31日	電気ストーブ	FE-08A1R	松下電器産業株式会社	火災・軽傷1名	帰宅後、電気ストーブを点け、うたた寝をしていた。思苦しくなって気がつく、のどが痛く、電気ストーブの背部より炎があがっており、電気ストーブが焼損し、床の一部を焦がした。	東京都		調査の結果、内部配線に半断線が確認されたが、寝具等の可燃物接触による発火の可能性も考えられ、原因を特定することはできなかった。
A200700163	平成19年6月11日	平成19年6月20日	エアコン	MSZ-VX28KD	三菱電機株式会社	火災	別フロアの住人から電気が点かないとの連絡を受けた寮母が業者を呼んで調査したところ、当該機器を設置していた部屋のドアの煤を発見した。マスターキーで開けて入ると、部屋内部が真っ黒で煤だらけだった(自然鎮火)。	東京都		事故現品による詳細調査ができなかったことから、出火原因を特定することはできなかった。
A200700170	平成19年6月9日	平成19年6月21日	コンセント	WN1161	松下電工株式会社	火災	店舗の天井面に設置されたコンセントへ冷凍ケースのプラグを接続して使用していたところ、コンセントから発火し、天井裏のケーブル、電線管及び断熱材を焼損した。	兵庫県		埃などによるトラッキング等の可能性も推定されたが、原因の特定には至らなかった。
A200700201	平成19年5月2日	平成19年7月2日	コンセント	ML1237	株式会社明工社	火災	飲食店の厨房で従業員が異臭を感じた。異臭の原因を調べたところ、突然、当該コンセントから煙とともに炎が出た。	東京都		事故現品による詳細調査ができなかったことから、出火原因を特定することはできなかった。
A200700202	平成19年6月24日	平成19年7月2日	エアコン(室外機)	AO228PB	株式会社富士通ゼネラル	火災	マンションの2階ベランダに設置されていた2戸の室外機2台が焼損し、マンション外壁が煤により汚損した。なお、2台はバルコニー隔板を挟んで設置されていた。	群馬県		焼損が著しかった方の一台の室外機が出火元と推定され、内部部品に異常発熱の跡が確認されたが、事故当時は通電されていなかったことから、原因の特定には至らなかった。
A200700222	平成19年7月2日	平成19年7月10日	電子レンジ	NE-M600	松下電器産業株式会社	火災	電子レンジの本体下部から発火した。なお、半年前から庫内の回転皿が回らなくなっていたが、食品はあたたまるのでそのまま使用していたとのこと。	京都府		テーブルのローラーが破損し、回転しない状態で繰り返し使用したため、テーブル部への電界集中によってスパークが起こり、火災に至ったものと思われるが、ローラーが破損した原因について特定することができなかった。
A200700225	平成19年6月26日	平成19年7月11日	電気こんろ	HT-1260	日立アプライアンス株式会社	火災	電気こんろの上に置かれていた水切りかごが溶融し、発煙する火災が発生。	神奈川県		何らかの理由によりヒーターのスイッチが入り、こんろの上に置かれていた水切りかごが溶融したものと思われるが、スイッチつまみはパネル面から飛び出しておらず、押し回し動作により正常に作動することが確認できたため、出火原因の特定には至らなかった。
A200700227	平成19年7月1日	平成19年7月12日	ステレオ	CMT-M3	ソニーイーエムシーエス株式会社	火災	ステレオを設置していた付近から火災が発生し、壁が焦げ、天井の一部が熱により焼損した。	北海道		電源コードに溶融痕が確認されたが、製品周囲で出火した火が製品に延焼した可能性もあり、出火原因の特定はできなかった。
A200700229	平成19年6月12日	平成19年7月13日	ライター(使い切り型)	NO.638	株式会社三洋プロセス	火災	車に乗車中にタバコを吸い、コンソールボックスに入れた所、煙が出た。	広島県		調査の結果、消火が不完全であった可能性があるが、異物混入等の消火機能に不具合を及ぼす痕跡が確認できなかったことから、出火原因の特定はできなかった。

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか 不明であると判断した理由
A200700237	平成19年7月6日	平成19年7月17日	電気湯沸器	PVQ-A300	タイガー魔法瓶株式会社	重傷1名	キャスター付きワゴンに電気ポットを設置しており、家人の子供がワゴンの引出しを出し入れた際、引き出しに重心が掛かり、ワゴンが傾いた。その際、電気ポットが転倒し、ポットの蓋が開き、お湯が流れ出て、火傷を負った。	千葉県		当該製品は廃棄されており、現物の詳細調査が不能であったため、事故原因は特定できなかった。
A200700238	平成19年7月1日	平成19年7月18日	フライパン	アムウェイ・クックウェア 大フライパン	日本アムウェイ株式会社	重傷1名	当該製品を用いてカセットコンロで揚げ物をしていて、フライパンを動かそうとしたところ、フライパンの取っ手接続部分が回転して油がこぼれ、両足、膝下に火傷を負った。	東京都		事故品の取っ手は既に廃棄されており、事故当時の製品の状態、使用者の詳細な使用状況が把握出来ないため、原因の特定ができなかった。
A200700262	平成19年7月15日	平成19年7月27日	エアコン(室外機)	AU-226H	シャープ株式会社	火災	家人がエアコンを運転してから10分後にブレーカーが落ちたのでブレーカーを復帰させたが、再びブレーカーが落ちたので窓の外を見ると当該機から発火しているのを発見した。	愛媛県		調査の結果、当該機器内に侵入した小動物が配線の絶縁被覆をかじり、配線がショートして発火した可能性も考えられるが、原因の特定には至らなかった。
A200700265	平成19年7月14日	平成19年7月27日	電気がま	NJ-CS06	三菱電機ホーム機器株式会社	火災	未使用状態の当該製品が燃えているのを発見し消火した。	神奈川県		調査の結果、製品内部に発火の痕跡は確認できなかったことから当該機器から出火したとは特定できず、火災原因の特定には至らなかった。
A200700290	平成19年7月26日	平成19年8月3日	換気扇(浴室用)	VFB-10A	東京芝浦電気株式会社(現 東芝キャリア株式会社)	火災	家人が自宅2階で異臭を感じ、1階に降りたところ、浴室からの発煙を発見した。	福岡県		調査の結果、建家外に束ねられている電源コードに傷があり、それがショートしたことが原因と考えられるが、電源コードに傷がついた原因については特定できなかった。
A200700302	平成19年6月10日	平成19年8月6日	圧力鍋	ニューピタクイック 38-648-04	イワタニ・フィスラー株式会社	重傷1名	当該製品にカレーの具材と水を入れて調理を行い、圧力表示ビンが上がったので、火を消そうとしたら、具材とともに鍋の蓋が飛び、火傷を負った。	埼玉県		事故品を確認したところ、フタ及び本体接合部に变形、損傷がなく、家庭用圧力鍋及び圧力がまの認定基準試験においても異状がなかった。事故当時の詳細な使用状況が把握出来ないため、原因の特定ができなかった。
A200700311	平成19年7月29日	平成19年8月7日	電気冷蔵庫	NR-D37V1	松下冷機株式会社	火災	冷蔵庫の背面下部より発煙・出火し、壁が煤けた。なお、冷蔵庫は土間に設置されており、小動物が内部に入り込んだ形跡が残っていた。	福島県		調査の結果、当該機器内に侵入した小動物が配線の絶縁被覆をかじり、配線がショートして発火した可能性が考えられるが、原因の特定には至らなかった。
A200700344	平成19年8月5日	平成19年8月24日	ハングライダー	ウィルスウィング式 スポーツ2-155型	株式会社スポーツオーバカイト	死亡1名	当該製品で、離陸した直後に機体に異常が発生し、翼が変形して山中へ墜落した。	山梨県		調査の結果、部品の破断または使用者の点検不良により、墜落に至ったものと推定されるが、ナット、ボルト及び接続金具等が事故現場から見つからなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。
A200700359	平成19年8月16日	平成19年8月29日	電気冷蔵庫	GR-2307T	東芝家電製造株式会社	火災	土間に設置された当該製品付近から出火する火災が発生した。	京都府		調査の結果、当該機器内に侵入した小動物が配線の絶縁被覆をかじり、配線がショートして発火した可能性も考えられるが、原因の特定には至らなかった。